

平成23年度 施策達成度評価シート(平成22年度実績評価)

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
4	共に生き未来を創る教育・文化	43	生涯にわたり楽しめるスポーツ・レクリエーションライフの実現

施策主管部	教育委員会	評価者(施策統括マネージャー)名	萬 明夫
-------	-------	------------------	------

1 施策の目的(目指す姿)

対象 (誰を,何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
市民	だれもが生涯を通して気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しめる

2 達成度

(1)成果指標

指標名	単位	指標の性格	H21実績値	H22年度計画 (年度目標値)	H22実績値	H23計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
市民アンケート調査 「週1回以上スポーツをしている」と答えた市民の割合	%	↗	29.70	32.00	30.70	35.00	50.00

(2)近隣自治体との成果水準比較

指標名	他自治体の状況等
市民アンケート調査 「週1回以上スポーツをしている」と答えた市民の割合	平成21年度以前の数値は、最近何らかのスポーツをしたと答えた市民の割合であった。国の目標値の50%以上が当市の目標値である。

3 達成度評価結果

取組内容と成果, 成果を得られた要因	各競技団体や各体育施設の指定管理者等が, 生涯スポーツの振興のため, これまで開催してきたスポーツ教室やスポーツ大会などの事業内容を精査し, より多くの市民が参加できる環境の整備に努めたが, 震災などのやむを得ない事情により参加者数の増加には結びつかなかった。 地域住民との意見交換会を開催しながら, 好摩地区の社会体育施設の設計業務を実施した。また, 市民により快適に施設を利用していただくため, 指定管理者等が施設の管理運営に努めたが, 東日本大震災の影響によりスポーツ施設の利用者数は減少した。その中で, 松園運動広場については, 指定管理者からの提案・要望を受け検討した結果, スポーツ振興くじの助成を利用して, 運動場を人工芝に改修した。その結果, 市民の施設利用に係る環境が大幅に改善され, 利用者数が前年比で倍増した。
翌年度以降の課題, その要因	食生活の変化や生活様式の変化に伴い, 飽食や運動不足を原因とする生活習慣病などにより, 市民の健康が危ぶまれている。こうした中で, 健康増進及び健康管理に対するスポーツの役割は, 非常に大きいものと考えられることから, 市民の健康増進及び健康管理を重点とした事業の展開について, 検討を進める必要がある。 スポーツ施設については, 利用者の安全確保や施設・設備の経年劣化への対応が求められるが, 老朽化が著しい施設が多く, 計画的な修繕等が急務である。しかし, 厳しい財政状況であることから, 総合計画に位置付けるとともに, 市が研究を進めている公共施設のアセットマネジメントの内容等を踏まえ, 修繕等に取り組む必要がある。また, 平成24年度完成に向け, 好摩地区の社会体育施設の整備(建替え)を進めるほか, 浜民地区の社会体育施設の整備についても地域住民との意見交換を行いながら整備内容についての検討を進める。

